

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：7月英国労働統計

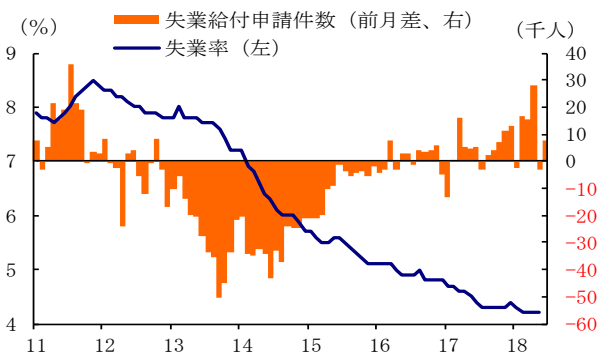
発表日：2018年7月17日(火)

～利上げへGO!～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

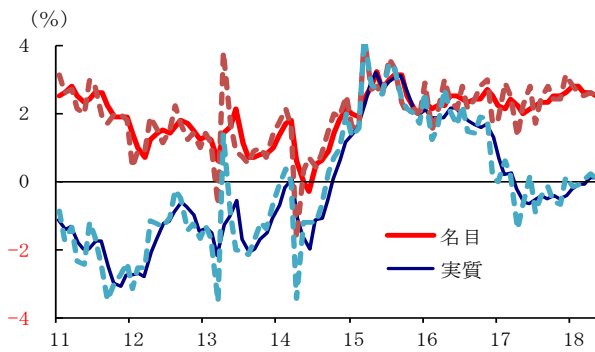
- 労働力調査ベースの英国の失業率は、5月から遡って3ヶ月の移動平均値で4.2%。1975年以来の最低水準を更新した2月から4ヶ月連続の横這い推移だが、四捨五入前では徐々に水準を切り下げている（前々月：4.22%→前月：4.19%→今月：4.17%）。単月の失業率は、新たに計算に加わった5月値が3.99%と四捨五入前で4%割れを記録、同一サンプルの2月（4.03%）から低下した。6月の失業率が4.29%（同一サンプルの3月は4.37%）を下回ると、来月の3ヶ月移動平均値が4.1%に低下する。
- 全産業の週当たり賃金（賞与を含む）は、5月から遡って3ヶ月の移動平均で前年比+2.5%と、1・2月の同+2.8%、3・4月の同+2.6%から上昇率が鈍化傾向にある。これは賞与の上昇ペースが一服したことに加えて、前年同月の反動もあり、賞与を除いた賃金の上昇率が鈍化したことが影響した。単月でみた賞与を除いた賃金の推移は、昨年2・3月の同+1.7%を底に、4月に同+1.9%、5月に同+2.4%と上昇率が加速していた。今年はその反動もあり、3月の同+3.0%をピークに、4月に同+2.6%に鈍化。5月は一段の鈍化が予想されたものの、前月と同じ上昇率（同+2.6%）で踏みとどまった。前年同月の推移から判断して、今後は年末近くまで前年比の上昇率が高めに出やすい。
- 失業率の低下と高めの賃上げ継続、4-6月期入り後のPMIや月次GDPの反発を受け、BOEは8月2日に結果が発表される金融政策委員会（MPC）で追加利上げを決断する可能性が高まった。

■英国：失業率と失業給付申請件数



出所：英国統計局

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：実線は3ヶ月移動平均値

出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2017					2018					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
失業率（失業給付、%）	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5
失業給付件数（前月差、千人）	2.1	4.3	7.1	11.1	12.9	-2.3	16.6	15.7	28.2	-3.0	7.8
失業率（労働力調査、%）	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	—
（単月の失業率、%）	4.25	4.13	4.42	4.29	4.40	4.25	4.03	4.37	4.16	3.99	—
就業者数（前月差、千人）	95	-14	-56	102	88	168	55	197	146	137	—
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	2.3	2.3	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.6	2.6	2.5	—
賃金	2.2	2.2	2.3	2.3	2.5	2.6	2.8	2.9	2.8	2.7	—
ボーナス	4.7	5.0	8.5	8.1	5.2	6.1	4.6	1.4	0.4	0.2	—

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。